

環境影響評価実施要綱（S59年閣議決定）に基づきサンルダム建設事業に係る環境影響評価手続きを平成7年7月に完了している。

環境影響評価 の実施

北海道知事からの「天塩川水系サンルダム建設事業に係る環境影響評価準備書に関する意見について(回答)」

平成7年2月2日付け北開局環第14号で照会のありましたこのことについては、特に意見はありません。なお、今後、事業を進めるに当たって、特に配慮すべき事項に係る附帯意見は、次のとおりです。

- 1 イソツツジについては、今後、地形等を含めた生育状況に関する調査を実施するとともに、移植などの保全措置を講じること。
- 2 遡上性魚類の生息環境を保全するため、魚類調査を継続するとともに、魚道に関する今後の調査・研究等の動向を見ながら、魚道の設置について積極的に検討すること。
- 3 気象と植生との関連などについては、ダムなどの事業を実施するに当たって、必要な環境保全対策を検討する上での重要な基礎資料となるものであることから、長期的・計画的に調査を実施すること。

平成8年以降

継続的な調査の実施

貴重な植物の移植等

環境保全措置の実施

最新知見・最新情報

に基づく評価の追加

イソツツジの保全

評価書を受けて、ダム周辺の移植候補地を選定し 移植試験、モニタリングを実施している。



サクラマスなどの遡上性魚類の生息環境の保全

北海道知事の附帯意見を受けて、遡上性魚類の生息状況を把握するため調査を実施している。

サンルダム建設に伴う遡上性魚類の保全対策として魚道の設置に向けて検討している。尚、調査及び検討については有識者の助言を得ながら実施している。




サクラマス成魚

- ・サケ科魚類確認調査
- ・ヤマメ生息密度調査
- ・サクラマス産卵床調査
- ・サクラマススモルト調査
- ・ヤマメ越冬場環境調査


気象観測調査の実施

サンルダム建設事業による環境影響を把握するため、気象の観測(気温・湿度・日射・風向・風速・雨量・霧)を継続的に実施している。


サンル川新栄橋水位観測所



下川サンル雨量観測所



サンルダム気象観測所



サンルダム気象観測所

下川北町気象観測所



気象観測を
行っている地点